

第31回ITER理事会の開催結果について



文部科学省 研究開発局
研究開発戦略官(核融合・原子力国際協力担当)付



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第31回ITER理事会について

日程・場所

- ・ 令和4年11月16日（水）～17日（木）
- ・ ITER機構本部（フランス サン・ポール・レ・デュランス市（カダラッシュ））

出席者

議長：ガリバ 欧州委員会エネルギー総局副総局長

日本：増子 文部科学審議官 ほか

欧州：パネック 欧州委員会エネルギー総局ITER局長 ほか

米国：ベルヘ エネルギー省科学局長 ほか

ロシア：ポロフコフ 連邦政府官房副補佐官 ほか

中国：チャン 科学技術部副部長 ほか

韓国：クウォン 科学技術情報通信部宇宙・原子力局長 ほか

インド：グローバー 原子力委員会委員 ほか

ITER機構：バラバスキ機構長、多田副機構長 ほか

議題

- (1) 開会挨拶（議長、各極首席政府代表、機構長）
- (2) ITER計画進捗報告
- (3) ITER機構の予算
- (4) その他

第31回ITER理事会の結果概要（令和4年11月16日～17日）

（1）開会

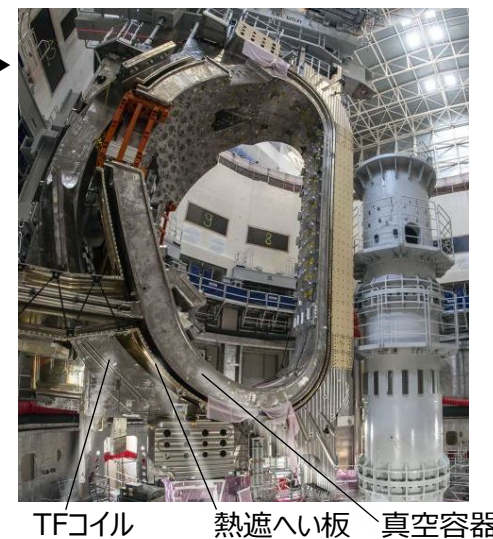
- 理事会は、10月17日にITER機構長に着任したピエトロ・バラバスキ氏を歓迎。
- また、ビゴ氏逝去後、暫定機構長を務めてきた多田栄介氏に謝意を表明。

（2）ITER計画進捗報告

（建設活動の進捗）

- 運転開始までの建設活動の進捗率は**77.5%**。（9月末時点）
- 各極及びイーターサイトで建設活動が継続し、6月以降の主な進捗は以下のとおり。
 - 「世界初」の機器の製作・納入が進捗。
例. 2022年9月 **日本が調達するトロイダル磁場(TF)コイル9基のうち7基目**が、検査終了後、工場からイーター機構に向けて**輸送開始**。
 - その他主要な施設等の建屋建設活動が進捗。

現在のトカマクピットの様子 ▶



（技術的挑戦とベースライン更新）

- 既に搬入済の機器の不具合（真空容器の歪み、熱遮へい板の腐食）により**大規模な修理が必要**であることが判明。
- 理事会では、修理方針の策定後、速やかに必要な修理作業に取り掛かるよう指示。
- 昨年来進められている**ベースライン**（日程・コストを規定する基本文書）の**更新は、詳細な日程及びコストへの影響の包括的な評価を行った後**で実施。

（3）ITER機構の予算

- ITER機構の**2023年暫定予算案**が提示され、**理事会において承認**された。